

**第47回全国高等学校柔道選手権大会新潟大会  
兼 第47回新潟県高等学校柔道選手権大会  
実施要項**

- 1 主催 新潟県柔道連盟  
2 共催 新潟県高等学校体育連盟 U X新潟テレビ21  
3 後援 朝日新聞新潟総局 スポーツニッポン新聞新潟支局  
日刊スポーツ新聞社新潟 新潟地区柔道連盟  
4 主管 新潟県高等学校体育連盟柔道専門部  
5 主管校 新潟県立新津工業高等学校  
6 期日 令和7(2025)年1月18日(土)・19日(日)  
7 会場 新潟市鳥屋野総合体育館  
新潟市中央区神道寺南2丁目3番46号 TEL 025-241-4600

- 8 日程
- |        |             |                 |
|--------|-------------|-----------------|
| 18日(土) | 7:30        | 開館              |
|        | 8:20~ 9:20  | 公式計量(女子団体・男女個人) |
|        | 9:00~ 9:30  | 受付              |
|        | 9:40~       | 審判監督会議          |
|        | 10:30~      | 開会式             |
|        | 11:00~17:00 | 男女団体試合          |
| 19日(日) | 7:30        | 開館              |
|        | 7:45~ 8:30  | 公式計量(男女個人)      |
|        | 8:45~ 9:15  | 審判監督会議          |
|        | 9:30~14:50  | 男女個人試合          |
|        | 15:00~      | 閉会式             |

- 9 競技種目 (1) 男子団体 (2) 女子団体 (3) 男子個人 (4) 女子個人

10 競技規定

(1) 国際柔道連盟試合審判規定(2022-2024)ならび全国高体連柔道専門部試合実施の申し合わせ規定によっておこなう。

(2) 審判員

ア 審判は、主審1人、副審2人の3審制で行い、審判委員(ジュリー/各試合場に1人または2人)を配置する。

イ ケアシステムを導入し、技の効果・反則の判定に採用する場合がある。

(3) 試合時間

ア〈男女団体試合〉3分

イ〈男女個人試合〉3分

(4) 団体試合における勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「僅差」とする。

ア「技有」:「技有」が2つでも「一本」と同等とする。(「合わせ技一本」)

イ「僅差」:試合両者に技による評価(技有)が無い場合または同等の場合に「指導」差が2の場合に、指導の無い選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差であれば「引き分け」とする。

ウ トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

- 1 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- 2 ①で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- 3 ②で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
- 4 ③ウで同等の場合は、代表戦を行う。

エ 代表戦の勝敗の判定基準は、次のとおりとする。

〈男子団体〉

・勝敗の判定基準は「一本」、「技有」、「僅差」とする。ただし、定められた試合時間の終了時に、試合両者に技の評価（スコア）が無い場合、もしくはスコアが同等の場合、「指導」差が同等もしくは1の場合は、その試合は時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦で必ず勝敗を決する。

・延長戦中に、技による評価（スコア）が与えられた時点で、その試合は終了する。ただし、抑え込みにおいては、技有（10秒）までの評価を行う。

・延長戦中において、「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合は、その試合は終了する。

〈女子団体〉

・勝敗の判定基準は「技有」以上または「指導1」以上とする。

※すぐに時間無制限のゴールデンスコア方式の試合を行う。

(5) 個人試合における勝敗の判定基準は「一本」・「技有」・「僅差」とする。

ア「技有」：「技有」が2つでも「一本」と同等とする。（「合わせ技一本」）

イ「僅差」：試合両者に技による評価（技有）が無い場合または同等の場合に「指導」差が2の場合に、指導の無い選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

ウ「指導」差が同等もしくは1の場合であれば延長戦（ゴールデンスコア方式）で必ず勝敗を決定する。

(6) 「両者同時反則負け（累積）」：「男子団体試合の代表戦」及び「個人試合」において、両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、すぐに時間無制限のゴールデンスコア方式の延長戦により必ず勝敗を決する。

※直接的反則による「両者同時反則負け」における勝敗の決定及び選手選考などについては、別途審議する。

(7) その他、競技規定の詳細については、大会審判会議資料・申し合わせ事項に基づいて行う。

## 11 競技方法

### (1) 団体試合

#### ア 男子団体

1 トーナメント法で行う。

2 各チーム間の試合は「点取り試合」とする。

3 試合は各チーム5名で行い、試合毎のオーダー提出を行い、順番の変更を認める。

4 〈県内大会のみ〉

・3名同士の学校の対戦は、先鋒・次鋒を空けた後ろ詰めで行う。

・一方が3名、対する一方が4名の学校同士の対戦は、先鋒を空けた残りの配置の中で対戦を行う\*3名の学校が、次鋒から大将の間の1つの位置が空いた状態の配置

5

#### イ 女子団体

1 トーナメント法で行う。

2 各チーム間の試合は「体重別点取り試合」とする。

3試合は各チーム3名で行う。※試合毎のオーダー順の変更は行わない。

4 2名でのエントリーを認める。ただし、試合当日、両チームとも2名での対戦となった場合は、配列をそのままの順序で後ろに詰める（先鋒をあける）。なお、2名同士の対戦後、勝ち上がった場合、次の試合の配列はエントリー通りの配列とする。

ウ〈男子・女子団体の代表戦〉試合方法は、次のとおりとする。

〈男子〉

代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

\*代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。

②〈女子〉

「引き分け対戦」の中から抽選で選び、最初から時間無制限のゴールデンスコア方式で試合を行う。

「引き分け対戦がない場合」は、両者反則負けなどで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、すぐに時間無制限のゴールデンスコア方式で試合を行う。

\*抽選で、「直接的反則負け」で決着した試合を選んだ場合のみ、試合を行わず、その終了した試合結果をもって勝敗を決着する。

\*代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(2) 個人試合

ア 男女とも体重別試合とする。

イ 3位決定戦は行わない。

(3) 大会運営の関係によって、試合時間等の変更が有り得る。(大会準備会議で決定する)

## 12 表彰

(1) 団体試合

ア 優勝チームには優勝杯を贈る。(次回大会返還)

イ 3位までの入賞校に賞状を贈る。

(2) 個人試合

3位までの入賞選手に賞状を贈る。

13 上位大会 男女団体優勝校及び各階級個人優勝者は第47回全国高等学校柔道選手権大会出場資格(日本武道館/東京都)の出場権を得る。

## 14 参加資格

(1) この開催基準要項でいう高等学校には、新潟県高等学校体育連盟に加盟する中等教育学校後期課程を含む。

(2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

(3) 選手は、新潟県高等学校体育連盟に加盟している高等学校に在籍する生徒であり、全日本柔道連盟に選手登録してあること。

(4) 選手は、各高等学校の教育計画に基づいて行う課外活動に位置づけられた運動部(当該種目)の部員であること。

(5) 上記(3)に該当しない生徒を選手として参加させる場合は、大会主催者の承認を必要とする。

- (6) 選手は、今年度の4月2日を起算とし、19歳未満の者とする。ただし出場は同一競技2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(高校1,2年生の学年とする。)
- (7) チーム編成
- ア チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- イ 特例として、全日制課程が定時制課程に改組された場合は、改組後2年間に限り混成を認める。
- (8) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (9) 転校後6ヶ月未満の者は出場することができない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし一家転住等の理由によりやむを得ない場合は、大会主催者の許可があればこの限りではない。
- (10) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、また在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (11) 参加資格の特例
- ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと大会主催者が認める生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
- イ 上記(6)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技2回限りとする。
- (12) 上記(1)から(11)の他、上位大会実施要項に準じ専門部で定める。
- (13) 脳震盪対応について、選手及び指導者は下記事項を遵守すること。
- ア 大会前一ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場許可を得ること。
- イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- ウ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- (14) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、新潟県高等学校校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
  - 2 以下の条件を具備すること
    - (1) 大会参加資格を認める条件
- ア 本連盟の活動の目的を理解し、それを尊重すること。
- イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校に一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
- ウ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていないこと。
- ア 新潟県高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項

等にし

たがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害

保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

## 15 参加制限

### (1) 団体試合（男女とも地区推薦による）

#### ア 男子の部

1 1校1チームとし、監督1名、選手6名の計7名とする。ただし、選手は3名から5名でも良い。

なお、3名もしくは4名の場合のオーダーの配置は、次のとおりとする。

2 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

#### イ 女子の部（男女とも地区推薦による）

1 1校1チームとし、監督1名、選手3名、補欠2名の計6名とする。

ただし、補欠は2名に満たなくても良い。

\*選手2名での参加を認める。

②体重区分は以下のとおりとする。

〈先鋒〉：52kg以下      〈中堅〉：63kg以下      〈大将〉：無差別

③体重の軽い者は重い階級に出場できる。また、補欠は該当する階級に出場できる。補欠選手を補充する際の順番は問わない。ただし、補充による順位の変動はできない。計量に合格できない者は出場できない。

④外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

### (2) 個人試合

ア 計量に合格できない者は出場できない。

\*無差別は計量を行わない。ただし、出場意思確認のための点呼を行う。

#### イ 男子の体重区分（5階級）

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| 1 無差別   | 体重制限なし          |
| 2 81kg級 | 73kgを超え81kg以下の者 |
| 3 73kg級 | 66kgを超え73kg以下の者 |
| 4 66kg級 | 60kgを超え66kg以下の者 |
| 5 60kg級 | 60kg以下の者        |

#### ウ 女子の体重区分（5階級）

- |         |                 |
|---------|-----------------|
| 1 無差別   | 体重制限なし          |
| 2 63kg級 | 57kgを超え63kg以下の者 |
| 3 57kg級 | 52kgを超え57kg以下の者 |
| 4 52kg級 | 48kgを超え52kg以下の者 |
| 5 48kg級 | 48kg以下の者        |

《全国高校選手権大会における「女子団体試合の階級配置」と「女子個人試合の出場階級」について》

団体先鋒登録選手：個人戦48kg・52kg・無差別に出場できる。

団体中堅登録選手：個人戦48kg・52kg・57kg・63kg・無差別に出場できる。

16 参加申込

(1) 所定の用紙(様式1)に記入し、下記に申し込むこと。

(2) 申込先

ア 様式1 (1-1~1-4) 男女団体試合、男女個人試合 **※メール送信不可**

〒956-0816 新潟市秋葉区新津東町1丁目12番9号 新潟県立新津工業高等学校 内

第47回新潟県高等学校柔道選手権大会実行委員会 担当 大久保 健二 宛

〈学校代表〉 TEL 0250-22-3441 FAX 0250-22-8114

〈体育科直通〉 TEL 0250-24-4393

イ 様式2 (事前連絡用紙)

《データ送付先》

Groupwareの大久保健二にメッセージ添付送信 (県立高校および中等教育学校)

E-mail: [okubo.kenji@nein.ed.jp](mailto:okubo.kenji@nein.ed.jp) (私立高校および上記以外の学校)

◎ファイル名には必ず「〇〇高校2025」と名前をつけてください。

(3) 申込締切

様式1 (1-1~1-4) 令和6年11月28日(木) 9:30必着

様式2 (事前連絡用紙) 令和6年11月22日(金)

17 参加料 (1) 男子団体 10,000円 女子団体 6,000円

(2) 個人試合 1人 2,000円 (障害保険料100円含)

18 組合せ抽選 令和6年11月28日(火) 9:30~17:00

新津工業高校 視聴覚室

※組合せ抽選は、新潟県高体連柔道専門部によって抽選を行う。

19 審判監督会議 令和7年1月18日(土) 9:40~ 鳥屋野総合体育館 研修室

令和7年1月19日(日) 8:45~ 鳥屋野総合体育館 研修室

20 選手変更 団体試合申込後に選手が何らかの理由により出場できない場合、男子団体戦は3名の選手変更を認める。女子団体試合は補欠選手を入れてからの2名の選手変更を認める。

1月18日(土)の受付時間終了(9:30)までに大会事務局(受付・選手変更係)に様式3(選手変更届)を提出しなければならない。※ただし、伝染病やその他天災による場合はこの限りではない。

21 計 量 女子団体・男女個人

1月18日(土) 公式計量 8:20~9:20 (女子団体・男女個人)

1月19日(日) 公式計量 7:45~8:30 (男女個人)

ア 公式計量時間内に何回計量してもよい。

イ「個人戦公式計量」は18日(土)または19日(日)のどちらかとする。

公式計量前に自分の体重を確認しておくこと。

ウ 計量に合格できない者は出場できない。\*無差別は計量を行わない。

エ 無差別級も、参加確認を兼ねているための点呼を行う。

- 22 その他
- (1) 前回優勝校は優勝杯を持参すること。
  - (2) 監督、コーチは各学校長が認める者とし、それが外部指導者等の場合は、傷害賠償責任保険（スポーツ安全保険）等に必ず加入することを条件とする。競技中、監督、コーチ席に入る場合は、あらかじめ審判監督会議でその旨を報告すること。
  - (3) 大会期間中の宿泊は各校で手配すること。
  - (4) 大雪等の悪天候やインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症等の流行や不測の事態による大会の延期や中止などの判断は、新潟県柔道連盟ならびに新潟県高等学校体育連盟柔道専門部で十分協議し決定する。